第七講　文学史❷

1　中古（平安時代）②

【日記】　十〜十一世紀

『土佐日記』…九三五年成立。作者＝**紀貫之**。**最初の仮名日記**。**女性に仮託**。

〈内容〉　土佐の国司の任務を終え、**土佐から京へ戻る**までの船旅日記。
土佐で亡くした女児への追慕と帰京への切実な願いが書かれている。

＊**女児**＝「**女子・恋ふる人・昔へ人・亡き児・小松**（比喩）・**白玉**（比喩）」などと表現。

〈冒頭文〉「**男もすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり**」

『蜻蛉日記』…九八〇年頃成立。作者＝**藤原道綱母**。**最初の女流日記**。

〈内容〉　**夫藤原兼家**との**結婚生活**（**物忌みを口実にして通ってこずに浮気をする夫へ**）の**不満**を吐露。
一夫多妻時代の女性の苦悩。出家まで考える。**一人息子道綱**に対する愛情。

＊**道綱**＝「**幼き人・ただ一人ある人**」などと表現。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『和泉式部日記』…一〇〇七年頃成立。作者＝**和泉式部**（有名な**歌人**・娘に**小式部内侍**（こしきぶのないし）がいる）。
　歌物語的日記。

〈内容〉恋人の**為尊**（ためたか）**親王**（**故宮**）と死別。悲しみにうちひしがれている作者を為尊親王の**弟**の**敦道**（あつみち）**親王**（**帥宮**（そちのみや））が慰め、恋愛へと発展していく過程が記されている。贈答歌が多い。
作者は自分のことを作品中では「**女**」と三人称を用いている。

主語把握ポイント！

地の文
- **尊敬語有＝敦道親王**（帥宮・宮）
- **尊敬語無＝女**（作者・和泉式部）
- **謙譲語有＝女→敦道親王**

が多い。

『紫式部日記』…一〇一〇年頃成立。作者＝**紫式部**（一条天皇の**中宮彰子**に仕えた女房）。

〈内容〉「前半」＝**彰子の出産**や**行事**など**宮廷生活**の詳細な記録。
「後半」＝消息文（手紙文）。**同僚の女房**や**清少納言**の**人物批評**（悪口など）。
憂愁に満ちた自己の内面を吐露。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『更級日記』…一〇六〇年頃成立。作者＝**菅原孝標女**。**藤原道綱母**は母方の**伯母**にあたる。

〈内容〉国司の娘として**東国の果て**で育つが、一三歳のとき**上総から上京**。その際の紀行文、少女時代、都での生活、夫との死別、仏教の信仰など、自分の人生の**回想日記**。作者は**少女時代**、**物語に夢中**になり、特に**『源氏物語』**の**「夕顔」**や**「浮舟」**に憧れており、仏前のおつとめを怠っていた。後年、現実は物語とは違うことに目覚め、晩年は仏教を頼る。

〈冒頭文〉**「あづま路のみちのはてよりも、なほ奥つかたに生ひ出でたる人、いかばかりかあやしかりけむを、いかに思ひはじめけることにか、世の中に物語といふもののあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ…」**

『讃岐典侍日記』…一一〇九年頃成立。作者＝藤原長子。**堀河帝**の没後、その子**鳥羽帝**に仕えた。

〈内容〉「上巻」＝**堀河帝の発病から崩御まで**の容態を克明に記述。熱心に看病をするがその甲斐なく帝は崩御し、作者は悲嘆の涙の中で亡き帝を追憶する。

「下巻」＝**白河院**（堀河帝の父・鳥羽帝の祖父）から**鳥羽幼帝への再出仕命令**が下る。断りきれない作者はしぶしぶ参内し、宮中生活の中で**何かにつけて堀河帝を偲ぶ**が、徐々に鳥羽帝をいとしく感じていくようになる。

時制注意！　**堀河帝が元気な場面は、死後の回想シーン。過去「き」「けむ」に注意！**

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『十六夜日記』…**鎌倉時代**（一二八〇年頃）成立。作者＝**阿仏尼**（＝**『うたたね』**の作者）。

〈内容〉　夫の死後、わが子と先妻の子との間におこった**領地相続争いの訴訟**のため、**京から鎌倉に下った紀行文**。子を思う母親の愛情が溢れている。

日記成立順＝**土佐→蜻蛉→和泉式部→紫式部→更級→讃岐典侍→十六夜**（鎌倉時代）

同年代の女房＝**紫式部・清少納言・和泉式部・赤染衛門**

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❶〕

問1　『更級日記』の作者の名前を次の中から選べ。

ア　額田王　　イ　菅原孝標女　　ウ　藤原道綱母　　エ　和泉式部

問2　阿仏尼には、夫藤原為家の死後、子為相（ためすけ）の領地相続訴訟のために、鎌倉へ下向したときの紀行的日記がある。その作品名を漢字五文字で答えよ。

問3　平安時代の女流日記文学として最も早く成立した作品はどれか。次の中から選べ。

ア　和泉式部日記　　イ　紫式部日記　　ウ　更級日記　　エ　蜻蛉日記

問4　『更級日記』より成立時期の遅い女流日記を、次の中から選べ。

ア　蜻蛉日記　　イ　和泉式部日記　　ウ　紫式部日記　　エ　讃岐典侍日記

問5　次の日記文学のうち、成立が最も早い作品を選べ。

ア　讃岐典侍日記　　イ　蜻蛉日記　　ウ　紫式部日記　　エ　更級日記　　オ　十六夜日記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6『たまきはる』は藤原俊成の娘である建春門院中納言の日記である。この作品より後に成立した作品を次の中から選べ。

ア　土佐日記　イ　十六夜日記　ウ　更級日記　エ　讃岐典侍日記　オ　蜻蛉日記

問7 和泉式部と最も近い時期に活躍した人物を、次の中から一つ選べ。

ア　藤原道綱母　イ　小野小町　ウ　建礼門院右京大夫　エ　菅原孝標女　オ　紫式部

問8 活躍した時代が紫式部と同時代ではない人物名を、次の中から選べ。

ア　阿仏尼　イ　清少納言　ウ　和泉式部　エ　赤染衛門

問9『源氏物語』の作者の書いた日記の中に出てこない人物を、次の中から一人選べ。

ア　一条天皇　イ　和泉式部　ウ　清少納言
エ　藤原公任　オ　藤原道長　カ　菅原孝標

問10『蜻蛉日記』の作者名と、その夫の名（氏と名）を漢字で記せ。

作者＝　　　　　　夫＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり」の書き出しで始まる平安時代の有名な日記のＡ作者とＢ作品名を書け。

Ａ＝　　　　　　　　　　Ｂ＝

問12　次の文の空白部Ａ・Ｂに入る事項として最も適当なものを、それぞれ一つずつ選べ。

『更級日記』の作者菅原孝標女は多くの物語類を愛読したが、とりわけ［Ａ］を読みふけった。また、母方に伯母がいて、この伯母は女流日記の先駆となった［Ｂ］を書いて、夫との生活や子供への愛情を描いた。

Ａ　ア　竹取物語　　イ　栄花物語　　ウ　伊勢物語　　エ　源氏物語

Ｂ　ア　蜻蛉日記　　イ　和泉式部日記　　ウ　紫式部日記　　エ　とはずがたり

問13　菅原孝標女の書いた日記の内容として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　夫への不信に悩む女の生活記録
イ　各地にある不思議な話を集めたもの
ウ　任地から都までの旅中の見聞記
エ　東海道の旅日記を中心とした母性愛の記録
オ　ある女性の人生の回想記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14　「生まれしも帰らぬものをわが宿に小松のあるを見るが悲しさ」（『土佐日記』より）の和歌の解釈として正しいものを次の中から選べ。

ア　任地の土佐の国で生まれた自分の幼い女児はそこにとどまり、京の我が家にいっしょに帰ってはこないので、庭のかわいい小松を見るにつけ悲しい思いがする。

イ　京の我が家の庭のかわいい小松を見るにつけ、ここで生まれて土佐の任地で死んだ自分の幼い女児が、自分といっしょに京の家に帰ってこないことが悲しまれる。

ウ　この京の我が家で生まれた幼い女児が、土佐の任地から自分が帰ってみると既に亡くなっているのだが、家の庭のかわいい小松を見るにつけ、それが悲しまれる。

問15　次の本文の趣旨に合うものを、後の中から選べ。

六月になりぬ。暑さ所狭きにも、まづ去年のこの頃は、事もなく（堀河帝は）御心地よげに遊ばせ給ひて…（以下は皆で扇引きを楽しんだ話が続いて行く）

『讃岐典侍日記』より

ア　作者は、去年天皇を交えて行った扇引きを、今年も同じようにできた事に満足している。

イ　作者は今年も変わりなく天皇のお気に入りであることを、皆に誇示しようとしている。

ウ　作者は去年と違って病気がちの天皇を慰めるため、何かと催物をしようと苦心している。

エ　作者は去年の今ごろは壮健であった天皇の、思い出を記しながら偲んでいる。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16 次の文章は『和泉式部日記』の一節である。和歌Ａ～Ｅは、それぞれ誰が詠んだ歌か。後の中からそれぞれ選べ。

Ａ「時雨かも何にぬれたる袂ぞとさだめかねてぞ我もながむる」

とて、「まことや、

Ｂ もみぢ葉は夜半のしぐれにあらじかしきのふ山辺を見たらましかば」

とあるを御覧じて、

Ｃ「そよやそよなどて山辺を見ざりけんけさはくゆれど何のかひなし」

とて、はしに、

Ｄ「あらじとは思ふものからもみぢ葉の散りや残れるいざ行きて見ん」

とのたまはせたれば、

Ｅ「うつろはぬときは山のもみぢせばいざかしゆきてとうとうも見む」

ア 帥の宮　イ 和泉式部　ウ それ以外の人

Ａ＝　Ｂ＝　Ｃ＝　Ｄ＝　Ｅ＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【説話】　平安時代は「仏教説話」が中心。

『日本霊異記』…最古の仏教説話集。作者＝景戒。漢文体。
仏教の本質を教えているが、民衆の生活も描かれている。

『三宝絵（詞）』…仏教説話集。作者＝源為憲。『日本霊異記』と『今昔物語集』をつなぐ役割。

『今昔物語集』…仏教説話が多いが世俗説話もある。漢文訓読文体。
天竺（インド）・**震旦**（中国）・**本朝**（日本）の約千話を収録。
「今は昔」で始まり、**「～となむ語り伝へたるとや」**で終わる。

『古本説話集』…「上巻」＝世俗説話四六話。「下巻」＝仏教説話二四話。和文体。
『今昔物語集』と『宇治拾遺物語』をつなぐ役割。

『打聞集』…仏教説話集。インド・中国・日本の霊験譚を中心に収録。『今昔』と二一話重複。

『宝物集』…仏教説話集。仏法こそが第一の宝物だということを記述。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代）①

【説話】　中世＝説話の時代！　**「仏教説話」**と**「世俗説話」**

『発心集（ほっしんしゅう）』…仏教説話。一二一五年頃成立。作者＝**鴨長明**。

『宇治拾遺物語』…世俗説話。**鎌倉時代説話文学の代表作**。『今昔物語集』と八四話重複。
「笑い」中心。「鬼に瘤取らるる事」「雀報恩の事」などの民話を含む。

『閑居友（かんきょのとも）』…仏教説話。

『十訓抄（じっきんしょう）』…世俗説話。作者＝六波羅二﨟左衛門入道（ろくはらじろうざえもんにゅうどう）か？　**若者のための教訓書**。

『古今著聞集（ここんちょもんじゅう）』…世俗説話。作者＝**橘成季（たちばなのなりすえ）**。古今の有名な説話を集め、年代順に配列されている。

『沙石集（しゃせきしゅう）』…仏教説話。作者＝**無住（むじゅう）**。

『雑談集（ぞうたんしゅう）』…仏教説話。作者＝無住。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❷〕

問1　次の中から説話集でないものを一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　古今著聞集　ウ　愚管抄　エ　十訓抄　オ　発心集

問2　『宇治拾遺物語』は鎌倉初期頃成立の説話集であるが、次の中から説話集ではないものを選べ。

ア　今昔物語集　イ　宝物集　ウ　無名抄　エ　撰集抄　オ　古今著聞集

問3　『宇治拾遺物語』と分野が異なる作品を次の中から選べ。

ア　宇津保物語　イ　沙石集　ウ　十訓抄　エ　古今著聞集

問4　『今昔物語集』と異なるジャンルに属する作品を選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　玉勝間　ウ　沙石集　エ　十訓抄　オ　古今著聞集

問5　『今昔物語集』より古い時代に成立した説話集を、次の中から一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　イ　古今著聞集　ウ　沙石集　エ　発心集　オ　日本霊異記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　『続古事談』は鎌倉時代初期に成立したと考えられている説話集である。これとほぼ同じ時期に成立した、同じジャンルの作品を選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　今昔物語集　　ウ　増鏡　　エ　無名草子　　オ　方丈記

問7　次に挙げる説話集の中で、最も成立の早い作品はどれか。

ア　宇治拾遺物語　　イ　今昔物語集　　ウ　十訓抄　　エ　日本霊異記　　オ　発心集

問8　『古今著聞集』は説話集ですが、これと同じ時代に成立した説話集を一つ選びなさい。

ア　日本霊異記　　イ　十訓抄　　ウ　無名抄　　エ　ささめごと

問9　出家・往生説話を中心に集めた仏教説話集を、次の中から選べ。

ア　梁塵秘抄　　イ　発心集　　ウ　宇治拾遺物語　　エ　無名抄　　オ　古今著聞集

問10　『発心集』の編者は『方丈記』の筆者でもある。この人の名前を次の中から選べ。

ア　兼好法師　　イ　無住　　ウ　鴨長明　　エ　井原西鶴　　オ　後鳥羽天皇

© RECRUIT

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　次の文学史に関する文章の空所に、後の選択肢から、適切なものを選べ。

『宇治拾遺物語』は（　１　）に成立した（　２　）である。このジャンルのものとしては（　３　）に成立した（　４　）が最も古い。奈良の僧、景戒が編纂した仏教に関する内容の物語である。このジャンルで最も有名なのは、（　５　）に成立した（　６　）で、天竺・震旦・本朝というこの当時、全世界と認識されていた三国の話に分かれる。この三ヵ国の中で日本を指すのは、（　７　）という言葉である。

ア　奈良時代　　イ　平安前期　　ウ　平安中期　　エ　平安後期　　オ　鎌倉時代
カ　室町時代　　キ　江戸時代　　ク　歌物語　　ケ　作り物語　　コ　歴史物語
サ　擬古物語　　シ　説話集　　ス　随筆　　セ　『十訓抄』　　ソ　『今昔物語集』
タ　『日本霊異記』　　チ　『徒然草』　　ツ　天竺　　テ　震旦　　ト　本朝

１＝　　２＝　　３＝　　４＝

５＝　　６＝　　７＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【歌論書・私家集・歌謡集・連歌・芸能など】

『**古来風体抄**（こらいふうていしょう）』…歌論書。作者＝**藤原俊成**。

『**無名抄**（むみょうしょう）』…**歌論書**。作者＝**鴨長明**。
作歌の心得・故実・逸話が書かれている。近代歌体では、問答形式で『万葉集』以後の歌風の変遷を叙し、幽玄体の意義を説き、俊成の考えに近い。が、師の俊恵の発言を借りて、俊成を批判している。

『**金槐和歌集**（きんかいわかしゅう）』…**源実朝**（さねとも）（師は定家。）の**私家集**。「万葉調」の歌に特色。

『**菟玖波集**（つくばしゅう）』…**最初の準勅撰連歌集**。撰者＝**二条良基**（にじょうよしもと）・救済（ぐさい）。連歌の地位を確立。

『**風姿花伝**（ふうしかでん）』…**能楽論**。**室町時代成立**。作者＝**世阿弥**（ぜあみ）。
「**花**」は「**芸における美しさ・感動すること**」の意。幽玄を説く。『花伝書』ともいう。

『新撰菟玖波集』…連歌集。作者＝**宗祇**。

『閑吟集』…歌謡集。恋愛の歌が多い。小歌集。

『新撰犬筑波集』…**俳諧連歌集**。作者＝**山崎宗鑑**。機知と滑稽さを重視。
「**犬**」は「**正当でない**」の意。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔演習問題❸〕

問１　室町時代に活躍した人物は誰か。次の中から一つ選べ。

ア　藤原定家　　イ　紀貫之　　ウ　世阿弥　　エ　菅原孝標女　　オ　本居宣長

問２　個人の和歌を集めた私家集を次の中から一つ選べ。

ア　沙石集　　イ　閑吟集　　ウ　菟玖波集　　エ　金槐和歌集　　オ　詞花和歌集

問３　謡曲『通小町』は、観阿弥・世阿弥父子が作者として成立に関与したと言われている。このふたりに関係の深い作品を、次の中から一つ選べ。

ア　無名草子　　イ　無名抄　　ウ　風姿花伝　　エ　ささめごと

問４　次の作品の中で、連歌集はどれですか。一つ選びなさい。

ア　猿蓑　　イ　閑吟集　　ウ　菟玖波集　　エ　ささめごと

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問5　『古来風体抄』の筆者とはどのような人物か。合致するものを次の中から一つ選べ。

ア　『金葉和歌集』の撰者である藤原顕輔の子で、『詞花和歌集』の撰者である。
イ　『千載和歌集』の撰者である藤原俊成の師で、『金葉和歌集』の撰者である。
ウ　『新古今和歌集』の撰者の一人である藤原定家の父で、『千載和歌集』の撰者である。
エ　『金槐和歌集』の撰者である源実朝とは兄弟で、『新古今和歌集』の撰者の一人である。

【その他の論書】

『無名草子（むみょうぞうし）』…物語評論。作者＝藤原俊成女（むすめ）か？　会話形式。『源氏物語』の評論が有名。

『愚管抄（ぐかんしょう）』…最初の史論書。作者＝**慈円（じえん）**。

『神皇正統記（じんのうしょうとうき）』…史論書。作者＝**北畠親房（きたばたけちかふさ）**。南朝の正統性を力説。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　復習問題

①『和泉式部日記』とほぼ同じ頃に書かれたとされている作品を、次の中から選べ。

ア　土佐日記　　イ　紫式部日記　　ウ　讃岐典侍日記　　エ　十六夜日記

②次の中から『蜻蛉日記』の筆者を選べ。

ア　菅原孝標女　　イ　和泉式部　　ウ　儀同三司母　　エ　赤染衛門　　オ　藤原道綱母

③『枕草子』に関する説明として誤りを含んでいるものを次の中から一つ選べ。

ア　冒頭の章段において作者は、夏は夜、冬は早朝がよいと述べている
イ　平安時代中期に成立した作品で、作者は清少納言と呼ばれる女性である
ウ　『紫式部日記』『十六夜日記』『和泉式部日記』とほぼ同時代の作品である
エ　内容は大きく類聚的章段、随想的章段、日記的章段の三種類に分けられる
オ　『源氏物語』が「あはれ」の文学とされるのに対して、「をかし」の文学とされている

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④『源氏物語』の作者と同じ時期に活躍したのではない人物を、次の中から一つ選べ。

ア　清少納言　イ　式子内親王　ウ　和泉式部　エ　一条天皇　オ　藤原道長

⑤『土佐日記』より「都へと思ふ心のわびしきは帰らぬ人のあればなりけり」の傍線部は誰のことか。次の中から選べ。

ア　貫之　イ　都人　ウ　妻　エ　女児　オ　家人

⑥　和泉式部に関する次の文章の空欄にあてはまる言葉を後の中から選べ。

和泉式部は、平安時代（　１　）の女流文学者で、為尊親王や敦道親王の兄弟との恋愛を描いた（　２　）日記や、和泉式部集の歌集を残した。藤原道長の娘である中宮（　３　）に仕え、藤原保昌と再婚し、情熱的な恋愛歌人として生涯を過ごした。また、この和泉式部と交流があり、藤原道長の妻倫子に仕えた女房に（　４　）がおり、彼女は、藤原道長の繁栄を描いた（　５　）の作者（あるいは編者）と言われている。

ア　前期　イ　中期　ウ　後期　エ　末期　オ　更級
カ　かげろふ　キ　十六夜　ク　大鏡　ケ　栄花物語　コ　増鏡
サ　讃岐典侍　シ　赤染衛門　ス　和泉式部　セ　阿仏尼　ソ　清少納言
タ　紫式部　チ　小式部内侍　ツ　定子　テ　徳子　ト　彰子

1＝　　2＝　　3＝　　4＝　　5＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦『撰集抄』は説話集に分類される作品である。次の中から同じく説話集に分類されるものを一つ選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　落窪物語　　ウ　竹取物語　　エ　保元物語　　オ　栄華物語

⑧『宇治拾遺物語』と同じジャンルに属する作品を次の中から選べ。

ア　平家物語　　イ　源氏物語　　ウ　雨月物語　　エ　今昔物語集　　オ　竹取物語

⑨『十訓抄』の成立した時代として正しいものを次の中から選べ。

ア　奈良時代　　イ　平安時代　　ウ　鎌倉時代　　エ　室町時代　　オ　江戸時代

⑩『沙石集』と同じ仏教説話集として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　宇治拾遺物語　　イ　発心集　　ウ　とはずがたり　　エ　徒然草　　オ　古今著聞集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑪「家の集」に分類される和歌集を、次の中から一つ選べ。

ア　金槐和歌集　　イ　抒情小曲集　　ウ　風雅和歌集　　エ　文化秀麗集　　オ　和漢朗詠集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　模範解答

〔演習問題❶〕

問1 イ　**問2** 十六夜日記　**問3** エ　**問4** エ　**問5** イ　**問6** イ

問7 オ　**問8** ア　**問9** カ　**問10** 作者　藤原道綱母　夫　藤原兼家

問11 A　紀貫之　B　土佐日記　**問12** A　エ　B　ア　**問13** オ

問14 イ　**問15** エ　**問16** A　イ　B　イ　C　ア　D　ア　E　イ

〔演習問題❷〕

問1 ウ　**問2** ウ　**問3** ア　**問4** イ　**問5** オ

問6 ア　**問7** エ　**問8** イ　**問9** イ　**問10** ウ

問11 1　オ　2　シ　3　イ　4　タ　5　エ　6　ソ　7　ト

〔演習問題❸〕

問1 ウ　**問2** エ　**問3** ウ　**問4** ウ　**問5** ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　解答解説

〈解説〉

①　「和泉式部・紫式部・清少納言・赤染衛門」は同時代の女房ということを覚えていると、『和泉式部日記』と同じ頃の作品は、イ『紫式部日記』だとわかる。よって、正解はイ。

②　『蜻蛉日記』の筆者は「藤原道綱母」。よって、正解はオ。

③　選択肢ウで『紫式部日記』『十六夜日記』『和泉式部日記』とほぼ同時代となっているが、『十六夜日記』は鎌倉時代の作品で、平安時代である他の作品とは異なっている。よって、正解はウ。

④　『源氏物語』の作者は「紫式部」。消去法で考えるとよい。①で触れたように、「和泉式部・紫式部・清少納言・赤染衛門」は同時代の女房なので、ア・ウは削る。「紫式部」は、一条天皇の中宮彰子に仕えていた女房であることからエも削る。中宮彰子の父はオ「藤原道長」。よって、イ「式子内親王」が正解。

⑤　『土佐日記』で「帰らぬ人」といえば、土佐で亡くなった自分の娘（女児）のこと。よって、正解はエ。

⑥　和泉式部は、平安中期の女流文学者である。よって、１の正解はイ。同時代に「紫式部」などがいたことは①・④でも触れたが、紫式部が書いた『源氏物語』が平安中期の作品であることからもわかる。２はそのまま『和泉式部日記』なので、正解はス。道長の娘である中宮は「彰子」なので、３の正解はト。道長の妻倫子に仕えた女房がわからなくても、道長の繁栄を描いた作者（編者）ということから『栄花物語』を描いた＝赤染衛門とわかる。よって、４の正解はシ、５の正解はケである。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦　選択肢の中で「説話」は、ア『宇治拾遺物語』である。よって、正解はア。イ『落窪物語』とウ『竹取物語』は「伝奇（つくり）物語」。エ『保元物語』は次回第八講で学習する「軍記物語」。オ『栄華物語』は「歴史物語」。

⑧　『宇治拾遺物語』のジャンルは⑦で触れたように「説話」。エ『今昔物語集』が正解。ア『平家物語』は次回第八講で学習する「軍記物語」。イ『源氏物語』は「物語」。ウ『雨月物語』も第八講で学習する「読本（よみほん）」。オ『竹取物語』は⑦で触れたように「伝奇（つくり）物語」。

⑨　『十訓抄』は鎌倉時代に成立した説話。よって、正解はウ。

⑩　選択肢の中で「仏教説話集」は、イ『発心集』である。よって、正解はイ。

⑪　「家の集」とは「私家集」のこと。選択肢の中で「私家集」は、源実朝のア『金槐和歌集』である。よって、正解はア。

〔解答〕

①イ　②オ　③ウ　④イ　⑤エ

⑥１イ　２ス　３ト　４シ　５ケ

⑦ア　⑧エ　⑨ウ　⑩イ　⑪ア

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。